

広報にゅげん

No.309

昭和58年 5月1日発行
毎月1回 1日発行
発行所 入善町役場
富山県入善町入膳3255
☎0765-72-1100(〒939-06)



5月号

ふれあい
シリーズ

こんなスタイルも
似合うでしょ!!

保育所に鼓笛隊セットが

日本防火協会から、このほど町内6つの保育所に鼓笛隊セットやビデオカメラセットがプレゼントされました。

初めての音楽隊スタイルに、チビッコたちは大喜びです。しっかりと練習をして、早くうまくなってくださいネ……。 (東部保育所で)

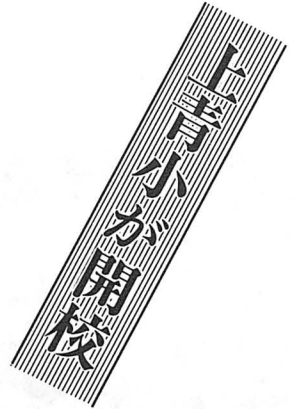
▶ぼくらが新入生です。どうかよろしく。



新しい伝統は ぼくらの手で

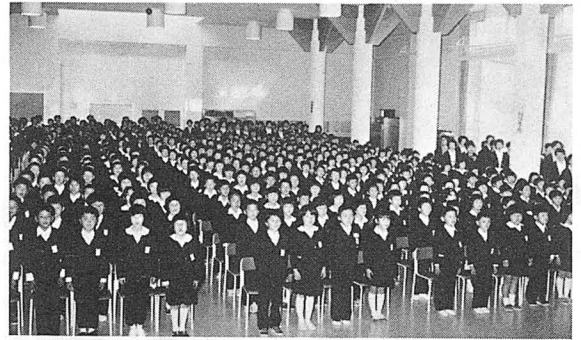


▲校章



“待ちに待った新しい学校だ!!” ——。
2年の歳月をかけて建設された上青小学校が、いよいよ完成となり、4月6日午前9時30分から同校ランチルームで開校式が行われました。

新しい校舎に入った子どもたちの感想を混じえて、同校のプロフィールを紹介してみました。

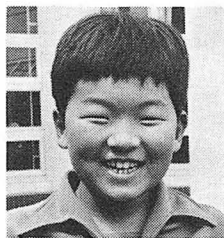


▲待ちに待った開校の日

学校の特徴

2階建てはほんの一部で、ほとんどが平屋建ての建物です。このため、階段面積も少なく、従来の廊下にあたる部分はグッと広げられ、ワークスペースや多目

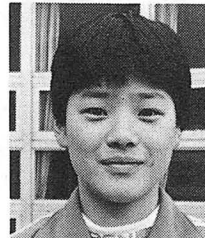
的ホールとして活用されています。また、ランチルームは食事をとる場であるばかりでなく、小集会の会場としても使用が可能です。そして、学校空間の一体化を図るため、床をカーペット敷きにするなど、学校全体が学習の場である、ともいえます。



愛場路泰くん
(3年3組)

みんなと一緒に食べれるランチルームが一番好き。早くプールや講堂を作ってほしい。

上原小学校と違って、きれいだし大きいから、とても満足しています。私たちが最初の卒業生になるんだから、いい伝統をつくっていかなくては……と思います。



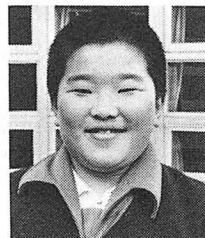
船平美穂ちゃん
(6年2組)

廊下が広くて遊びやすいし、図書コーナーも使いやすい。グラウンドに、スキー山や鉄棒を早くつくってください。



吉島祥子ちゃん
(4年1組)

床がカーペット敷きだから、汚れそうで入るのがもったいない。きれいに使いたいと思う。



松嶋繁城くん
(5年2組)

故柏原兵三氏の文学碑を建立へ



故柏原兵三氏

奥田さん(吉原)らが募金の呼びかけ

入善町ゆかりの芥川賞作家・柏原兵三氏が亡くなって11年。その代表作である“長い道”の文学碑を、去る3月に廃校となった上原小学校跡地に建てようと、氏の同級生や文学仲間などが募金を呼びかけています。

文学碑建立の代表世話人は、高校教諭の奥田淳爾さん(吉原・50歳)と小学校教諭の森清松さん(上野・57歳)の2人です。

柏原氏は、国鉄官吏だった父・兵太郎氏(故人)の3男で、昭和8年に千葉市で生まれ、19年、父の郷里・吉原に疎開し、約1年間上原小学校に通学。東京大学を卒業後、昭和43年「徳山道助の帰郷」で芥川賞を受賞。「長い道」「浸蝕」「同級会」「祝言」「座棺」など入善町を舞台とした作品が多くあります。

募金に賛同されるかたは、次の要領で…

- 募金目標額… 100万円
- 募金期間… 8月末日まで
- 基金… 1口2千円(何口でも可)
- 送金先… ①振替口座・金沢2-551 ②銀行口座・北陸銀行入善支店4048290 (①②とも「柏原兵三文学碑建立発起人会」あて) ③現金等…入善町吉原3951・奥田淳爾。

■上青小学校メモ

住所/入善町上野 210番地

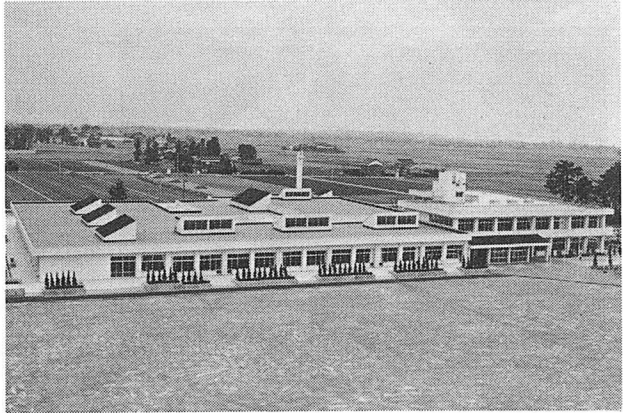
建物概要/校舎…鉄筋造2階建 4,861㎡
給食室…鉄筋造平屋建 153㎡ } 計 5,503㎡
食堂…鉄筋造平屋建 489㎡

工期/昭和56年9月3日～昭和57年10月30日

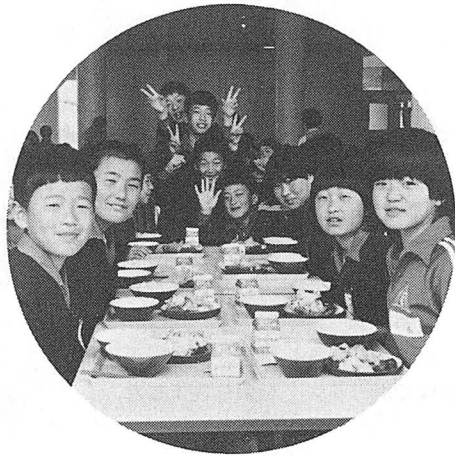
事業費/11億 5,195万円(用地費含む)

生徒数/ 555名

教職員数/ 27名



▲グラウンドから見た校舎全景一。ほとんどが平屋建てで、いかにも明るいイメージです。



◀555名の生徒が一堂に食事がとれるランチルーム。子どもたちの一番楽しいひとときです。

御寄贈

ありがとうございます

上青小学校開校にあたり、次のかたがたから心暖まる御寄贈がありました。この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

- 玉池流心氏(上野・49歳) 校旗、標旗、日章旗
- 松島美枝子氏(青木・49歳) 大平山涛・作の扁額
- 高田茂氏(上野・42歳) 校名を刻んだ石碑

美しい田園の中に立つ—真白いきれいな校舎—。こんな静かな環境の中で、私たちが最初に教壇に立てることは、とても意義があるし、新しい校風をつくっていく上でも強い責任を感じます。

学校内部を見ましても、ワークスペース、多目的ホール、図書コーナーなどの広い空間があり、また、一般教室のほか、音楽室、視聴覚室、放送室など、どれをとっても近代的な施設が整備されています。

これらの立派な施設を有効に利用して、子どもたち一人ひとりの能力を最大限引き出してやること、私たちが教師の務めであると信じています。

それが、明日の入善を担う子どもたちのためであり、多くの土地を提供して下さったかたがたへの恩返しでもあると思います。



上青小教諭 上原 毅さん(48歳)

校舎全体の有効利用を

—— どうして、こちらへ？
 泉 流球大学を卒業して、就職した神奈川県内の小学校に、主人の妹さんが勤務しております、これが縁で入善に参りました。
 —— 入善はいかがですか？
 泉 7年でやっと、風俗、風習に慣れた、という感じです。
 山あり、海あり、川あり、素晴らしい自然に恵まれた入善。それだけに、四季の移り変わりがは

「そとから見たにゅうぜん」

入善から約1,500キロ離れた沖縄県那覇市出身で、入膳にお住まいの泉由美子さん——。来入されてから丸7年。現在、入善小学校にお勤めです。



入善ジャンボ西瓜をPR 東京・後樂園球場で

町では、巨人・ヤクルト戦が行われた後樂園球場で4月23日夜、町の特産品——入善ジャンボ西瓜を東京の野球ファンにプレゼントしました。これは、富山県の「いきいき富山観光キャンペーン」に相乗りしてPRしたもので、西瓜のほか、県花のチューリップなどもプレゼントしました。
 試合前のセレモニーでは、「ミス西瓜」に扮した滝本美穂子さん（蛇沢・24歳）と松島秀子さん（青木・22歳）が、巨人・中畑、ヤクルト・大矢両選手に入善ジャンボ西瓜の模型を贈呈。西瓜が実る7月下旬には、両チームに味覚の味が送られることになっています。

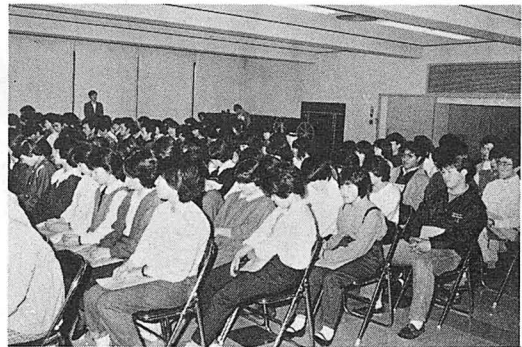
▲ 巨人・中畑、ヤクルト・大矢両選手に入善ジャンボ西瓜の模型をプレゼントする松島さんと滝本さん——。

▲ また、この夜ホームランを放った巨人・原選手や、内外野席の野球ファン10人にも、西瓜の商品券がプレゼントされました。

社会人の門出を祝す 新しく就職した若人の集い

この春、入善町内の事業所に新しく就職した若人は、約140名です。こういった人たちを対象に「新しく就職した若人の集い」が、4月17日役場で開かれました。

町を紹介した映画を観賞した後、会場を入善ボールに移し、全員でボーリングを楽しみました。



かめら・とびくす カメラ・トビックス かめら・とびくす

上野	下飯野	入膳	下山	東山	入狐	浦山	野新	吉原	入膳	上野	芦崎	入膳	上野	上野	上野	上野	上野	横山	入膳	浦山	上野	上野	住野		
松原英則	新広川順一	上田勇	後藤正俊	長田修一	五十里巧	浦滝敏昭	窪野昭広	宝泉広行	上田英男	水野文明	井田栄二	上田健太郎	倉又敏	鈴木孝一	長島勝昭	川口忠幸	藤井満	池原憲文	村田正道	宝泉卓也	長田剛	中易雅人	高見哲夫	柳原清栄	籠瀬茂春
二女	長女	二男	長男	長男	二男	長男	二男	長女	長男	長男	二女	長女	長男	長男	長女	二女	長男	二女	二女	長男	長男	長男	二女	二女	長男
奈	香織	平	裕一	雅俊	隆行	一徳	雅通	二木	大介	克理	敬子	真実	綾亮	聡介	恵美	麗子	智恵美	辰也	俊也	健太	真千子	浩之	栄理子	真実	前

おめでた



吉崎さんが 新行政相談委員に



吉崎弘士さん
(入膳・60歳)

吉崎弘士さんが、4月1日付けで行政管理庁長官から、入善担当の行政相談委員に委嘱されました。

行政相談委員は、役所や公社・公団の仕事に対する苦情などの相談に応じて、解決する仕事をしてあります。

なお、前行政相談委員の上田秀雄さんは、行政相談業務功労者として、感謝状が贈呈されました。

受講生を募集

県民大学・入善高校開放講座

- 開設期間…5月14日～10月29日
- 学習時間…33時間(合計10回)
- 募集定員…約40名(先着順)
- 対象者…成人一般
- 受講料…無料(ただし、実習教材費をいただくことがあります。)
- 申込方法…5月10日(火)まで役場社会教育課または入善高校へ。詳しいことは、開放講座事務局 ☎72-1146までお問い合わせください。

■ 講座日程と学習内容

月日	曜	学習内容
5/14	土	開講式・オリエンテーション 夏野菜の作り方
5/28	土	東洋ラン・野生ランの育て方
6/11	土	庭木・草花の殖し方
6/25	土	陶芸 — 粘土彫塑を楽しむ —
7/2	土	"
7/16	土	"
9/17	土	入善町の近世史 — 農民の移住を中心に —
9/25	日	郷土の史蹟めぐり
10/8	土	手づくりおやつ — 野菜ケーキ —
10/29	土	レクリエーション 閉講式

◎時間 土曜日…13:30～16:30
日曜日…9:00～15:30

「入善で特筆すべきことは？ 泉 とにかくよく働かれますネ。女性のほとんどのかたが、家事をしながら勤めに出るんですから、大変だと思います。」

次に、生活がせいぜいなこと。家屋敷や調度品もそうですが、特に冠婚葬祭が派手です。最初のうちは、「これで付いていけるかな」と思ったくらい…。結局、よく働くからこそ、こんな暮らしができるんでしょうネ。

「いなかの人に、入善のどんな点を売り込みますか？ 泉 海産物—特に甘エビがおいしいですネ。時々、両親に干物を送ったりもします。もし、友だちが入善を訪れたら、ジャンボ西瓜を食べさせてあげたいと思います。」

カメラ・とびつくす カメラ・トピックス カメラ・とびつくす



入善柔道少年団が 全国大会に出場

—昨年到现在2度目

“やった!!全国大会だ”一。入善町柔道スポーツ少年団は、4月3日、富山市で開かれた第3回全国少年柔道大会富山県大会において優勝し、全国大会に出場することになりました。

県大会では、トーナメント方式で試合が進められ、シード校の入善町チームは、2回戦、3回戦、準決勝と勝ち進み、決勝戦で昨年の優勝チーム・高島スポーツ少年団(富山市)と対戦

し、入善が4-0で昨年の無念を晴らして優勝を飾りました。

入善チームは、一昨年に続いて2度目の優勝で、5月7・8日、東京で開催される全国大会での活躍が期待されます。

出場選手は次のとおりです。

- 6年—橘直人(入善小) 金沢幸宏(入善小) 青木貴志(栞山小) 辻田義孝(横山小)
- 5年—本田茂(上青小) 米沢昌樹(入善小)
- 4年—金沢聡明(入善小)

舟上	八上	舟中	舟田	木青	住
見野	新幡	野見	見見	又根	所
松田	高森	大田	菊田	上田	小林
城	つや	松次郎	彦一	つな	順平
79	87	81	74	85	52
87	58	87	58	58	53
本	本	本	本	本	本
人	学	人	人	人	人

(4月15日受付分まで)



私たちの広場

ご意見などを
お寄せください

この広場は――

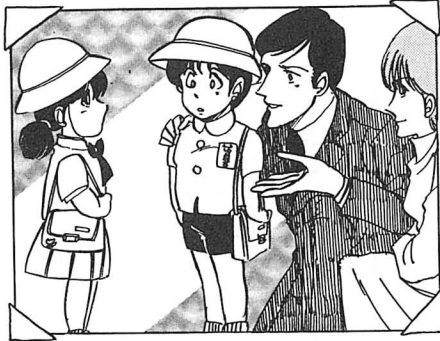
- ご意見 ●イラストやマンガ ●ゆずります・ゆずってください ●グループの紹介……などに利用したいと考えています。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報係 ☎72-1100内線39

▶その4

「さあ幼稚園だ。みんなと仲良くするんだゾ」



イラスト

泉 裕子さん
(高3・上野)

入善のみなさんこんにちは。黒部川の雪解け水も少しずつぬるみ、もう田植えが始まる頃でしょう。私が子供の頃のふるさとの田植えは、丹念に育てた苗代の苗を腰をかかめて黙々と取る人々や、水田では腰に苗の入った竹かごをしばりつけ、一本一本の苗を植える人々にぎわったものです。またこぶれという休憩時間には、ソフトボールぐらいの大きなおにぎりが出て、それがとてもおいしかったことが思い出されます。

あれから20年余の年月が流れ、ふるさとの姿は一変し、苗代に代わって育苗センターが、そして一本一本手で植えていた仕事を田植機がすべて短時間でやってくれるようになつたとのこと、年月の経過をしみじみと感じています。ふるさとを離れて18年になりますが、その間いろんな思いを抱いてふるさとを訪れ、去つて参りました。なつかしさを胸をときめかして訪れた日。父や祖母を亡くし悲しみでけろけろな思いで訪れた日。あたたかい心に励まされがんばる意欲を燃やしてふるさとをあとにした日。いろんな思いが私の頭を駆けめぐります。

私は今、静岡県浜松市の小学校の教師として教壇に立っています。テレビでおなじみの徳川家康が、武田軍と一戦を交えた三方原台地に位置する学校です。雪のないところで住みたい、という無鉄砲な考えから、静岡県に嫁ぎ教師になりました。習慣も考え方も異なるところで、教師として嫁として妻として母親として無我夢中に歩いてきました。幸いに温かい家族のはげましと浜松の先生方の御指導で今日に至っております。

しかし、私の心の奥にいつも潜んでいて、くじけそうになつたとき支え励ましてくれたのは、ふるさと雪国で鍛えたがんばりの心だつたように思います。吹雪の日もしんしんと降る粉雪の日も、あの細い一本道を黙々と重たいマントを着て学校へ急いだこと。何とんでも目的の地まで着かなければ……そう思いながら足の冷たさも気にせず歩き続けたこと。小さい頃に身につけたこれらのことが、今の自分に大きくプラスになつて生きていることを感じます。

「あなたは、さすが雪国の生まれですね。」

このように私をほめてくれる人がいると、この上なく「ふるさと入善」が懐しく、そして入善の出身であることを誇りに思うのです。雪のない地方の子供たちにも、雪国の子供たちのようながんばりと実践力をつけてやりたい、そう思いながら、今日も教壇に立っています。

最後になりましたが、入善町民の皆様のお祈りいたします。



鶴見郁子さん

『ふるさと・今日も忘れ難き』

ふるさとへの便り

旧姓―亀田、横山出身。昭和40年入善高校を経て、都留文科大卒業後、現在、浜松市都田南小学校に勤務。
静岡県引佐郡細江町在住、36歳。

グループ登場



▲「継続は力なり」と、書道に励むみなさん

「字がうまくなることも大切ですが、気持ちを集ませることで、心の鍛練にもなります」と、精神修業の面から話されます。
回を重ねて少しずつうまくなれば「グループ展を開いたり、町の美術展にも出品してみたい」と、大はりきりのママさんたちです。

飯野の改善センターで、毎月2回書道を学んでいるグループがあります。瑞朋会——。22歳のお嬢さんから63歳のおばあちゃんまで、主婦を中心に会員21名。
今年3月から習い始めたばかりで、「日常生活においても気軽に書けたら……」と思って参加しているんですけど、とても難しいですネ。でも、こういった

墨特有の香りが漂う中で、いま挑戦しているのは、中国晋代の書家・王羲之の「蘭亭の叙」を手本に行書体の練習です。
会員の中では「黒一点」で、会長でもある米島喜善さん（下飯野新・63歳）は、



『瑞朋会』（飯野地区）

あなたと図書館



本との出会い

ゆたかな人生

『印象に残った本』



中村奇雲さん
(中沢・72歳)

図書館へ行ってみると、「御物聚成」「東京芸術大学蔵品図録」「中国歴史博物館」など、自分の好きな本がいろいろあつて、どれを読もうかと迷ってしまう。
今まで読んだ書籍の中で、朝日新聞社発行の「社会面で見える世相75年（明治12年7月9日より）や

「重要紙面75年（明治12年1月25日より）」は、明治、大正、昭和の歴史を知る上において、貴重な資料だと思つた。
現在、図書館で読んでいる本は「遺偈の書」である。この本をひもとくと、「筑州聖福寺の仙厓（天保8年10月7日示寂・世寿八十八）の最後の句として、

来時來生を知り
去時去処を知る
懸崖に手を撒たず
雲深くして処を知らず
末後句（105句）
とある。すなわち「生れて来た時も死んで行く時もその来去の処はよくわかつてゐる。来る時も明明、

去る時も明明だ。生と死との境の崖ぶちに身を支えているこの手をここで放すわけにはいかない。彼方を遠く眺めるに、雲が深く重なりあつていて、実に見事だ。雲路はどうやら虚空につながっているようだ。生死の去来はわかつたといつても、見れば見るほどなかなか奥が深いものだ。もういうことではない」という意味である。言い換えれば、静かにただ死ぬばかりということであろうか。
この仙厓の句と同様、感銘したものに、仙厓と同時代の誠拙（文政3年6月28日、75歳の生涯を閉じた）の遺偈がある。

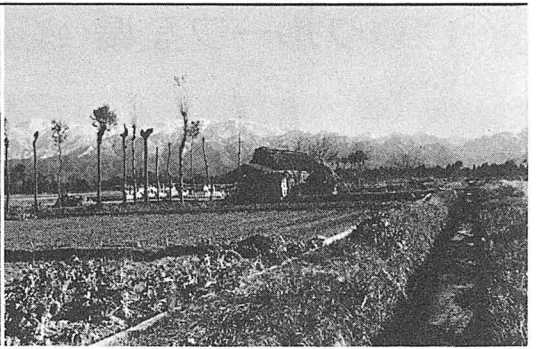
時來つて人未だ來らず
興來つて人將に行かんとす
閻魔大王冷厳なり
文政庚辰年六月二十七日
明日打して君が為めに相行かん
文政庚辰年六月二十七日
誠拙遺偈（花押）
これは、一口で言うと、閻魔大王のお呼びがかつたので、行かなければならないという意味である。
この「遺偈の書」は、一つ一つ丹念に読んでいくと、なかなか味わい深く、読みはじめてから3か月を経たがまだ読み終わっていない。当時の人々の死に対する心構えに、心打たれるばかりである。
※遺偈……禪僧が死ぬ間際に残す詩句。一般には辞世の句。

新着図書案内

〈一般図書〉

- 医者にも言わせてほしい 志賀 貢
- 日本人の脳 角田 忠信
- 人を動かす D・カーネギー
- バスケットボール 竹市 行男
- ゴルフ入門 高氏 一郎
- フリーメーソンとは何か
- 久保田 政男
- 雲 飯田 睦治郎
- ありがとうのパッチワーク
- 水野 スウ
- かなしみのクリスチアーネ
- クリスチアーネ・E
- 生きがいについて 神谷 美恵子
- 徳川家康おもしろものしり
- 雑学事典 樋口 清之

■写真・右／昭和39年当時の役場庁舎付近・左／現在の姿 (入善町所有)



古い写真と原稿をお寄せください

私たちの歩みを、このページに

町民のみなさんはもうご存知のことと思いますが、入善町は昭和28年10月、入善町、上原村、青木村、飯野村、小摺戸村、新屋村、櫛山村、横山村の1町7か村が合併しました。そして5年後の34年1月、野中分離地区を含む舟見町が編入合併し、現在に至っています。

あれから30年を経た昭和58年。町では、この合併30周年を祝ってさまざまな記念行事を計画しているところです。

広報係でもこれと併せて、『わがまち今昔』『30年とわたし』というテーマで、私たちの歩みを振り返ってみたいと思います。

『わがまち今昔』では、昔の写真と現在の姿を見比べます。古い写真をぜひ提供してください。

『30年とわたし』では、あなた自身の30年をつづってください。

あて先は、役場広報係 (☎72-1100 内線39番) です。

30年とわたし



一島長五郎さん (芦崎・78歳)

驚異の高波 芦崎を襲う

私は明治37年生まれて、現在78歳です。人間年を取ってくると、昔のことが忘れがちになることから、約40年前から毎日欠かさず、身の回りの出来事を記録するようにしています。この日記をひもとけば、その当時のことが大体思い出されます。

この中から、昭和45年1月31日、当地・芦崎を襲った「驚異の高波」の状況を記してみました。

昭和45年1月31日午後1時頃より驚異の高波が芦崎を襲った。北風にて次第に波が高くなってきて、防波堤に打ち上げるようになり、西北の風雨強くなり、我家

の横道は川の如く流れるようになった。

部落駐在所の石橋様を電話にて呼び出して相談し、飯野消防団に至急来てもらい、部落総動員にて急防作業に取り掛かった。玉石を詰めた4畧もある蛇籠は10畧も放り投げられ、再三再四固めても投げ飛ばされた。

波はどんどん高くなり、まもなく海水は我家の中を川の如く流れた。家族は家の中の片付けに一生懸命であった。夜になって海水の浸入は一層激しくなり、家の中にあるものはほとんど砂や海水に浸った。この夜は一睡もせず、ただ

見守るだけであった。2月1日。高波は少しも衰えを見せず、波によって村中に土砂が運び込まれ、井戸水は塩水になってしまい、アスファルト路上は砂浜と同じになった。

2月2日。高波もようやく収まり、片付け作業、給水、炊出しも行われ、飯野中学校生徒の勤労奉仕には、被災者も元気づけられた。負傷者3名、住家半壊4棟、一部破損3棟、床上浸水56棟、床下浸水107棟、非住家全壊32棟、半壊37棟など。

さて、入善町の歴史は、昔から「黒部川との戦い」と言われますが、その一方で「高波との戦い」であるとも言えます。

ここ最近、毎年のように護岸堤や消波ブロックなどで、海岸線を守る事業が進められています。もっともつと力を注いでほしいと願う次第です。



▼本紙4ページでも紹介しましたが、4月23日東京後楽園球場で行われた「いきいき富山観光キャンペーン」のスナップです。ミス西瓜に扮した滝本さんと松島さんは、球場入口で、果花・チューリップの切花を野球ファンにプレゼントしました。

編集室

今月の人口		
人口	29,713 (△95)	29,667
男	14,227 (△52)	14,188
女	15,486 (△43)	15,479
世帯数	7,611 (△82)	7,405
() 内は前月比		前年同月
4月1日現在住民登録		